

活動名:第16回NACカップU-10の部
日程:平成28年 7月9日～10日
会場:小野町町営グラウンド
参加:E4・T5(4年生)クラス12名
帯同:設楽コーチ
結果:第4位/12チーム中
報告:設楽コーチ

予選リーグ

VS 13-0 FCリガーズ ○

VS 4-1 富田SSS ○

決勝トーナメント

VS 0-1 緑ヶ丘SSS ●

VS 0-0 行健SSS ●

(PK0-2)

結果 4位

毎年参加させていただいております小野FC主催の「NACカップ:(地元の企業である株式会社NACさんが協賛)」ですが、今回はU-10の部に2チーム参加させていただきました。他チームも少子化により人数が少ないことから出場チームが作れず空きが出たためです。お陰さまでアールは学年でチームが作れるほどの会員(選手)がいるため幸せなことです。

さて、私はU-10(4年生以下)の部であるE4・T5クラスの4年生主体チームを帯同しました。空港公園杯で優勝していることからこの大会も子どもたちは優勝(焼肉祝勝会?)を目標にして挑みました。

自分たちではさらに「あきらめない」という一つの気持ちをテーマに掲げ、この気持ちでプレーする約束をしました。

初日は雨が降りグラウンドコンディションはとても悪く、ドリブルでボールを運ぶことは大人の選手でも難しい状況でした。また、ピッチのゴール前には野球のマウンドもあり、子どもたちは戸惑いながらプレーしていました。しかし、お互いのチームは平等のピッチであるため、そんなことを気にしてられませんでした。初日は危なげなく二日目の決勝トーナメントに進出することができました。

今回参加した12名の4年生たちは女子も1名いましたが、お弁当の時間も一緒に過ごし、ミーティングもまとまって行っていたので、キャプテンのみつき君のリーダーシップや周りの子どもたちの協調性、さらにつどいちゃんが男の子の輪に入って活動することを拒むことなくまとまっていたような気がしました。そのことから試合では助け

合いながらプレーする姿が見られ、今までにないチームワークを感じ「優勝」してくれるかも？と言った思いを私にも持たせてくれました。

二日目の決勝トーナメントですが、天気は快晴でしたがグラウンドコンディションは前日の雨もあり、小野FCさんの関係者の方々は朝早くからグラウンド整備を一生懸命してくれましたが午前中はボールコントロールが厳しいピッチでした。

このようなグラウンドでの試合は、蹴ることが主体のチームはあまり影響はしませんが、将来のためにも個の技術の向上を求めて日々ドリブルやボールキープなどの練習をしているアーレの4年生たちには厳しく、また狭い規格のコートだったのでスペースもないため、初日同様に厳しい戦いになることが予想されました。

そのようなことから準決勝の相手はこの年代で最も強豪であると言われている「緑ヶ丘SSSさん」でした。この一戦を勝てば優勝が大きく見えると思いき、前日の試合である程度プレーが安定してできていたメンバーを中心に挑みました。相手の中心メンバーをマンツーマンでマークしてしっかりと何もやらせない守備と果敢に攻め込むプレーでポストに当たるなど惜しい場面が数回あり、負ける試合ではなかったのですが残念ながら残り3分前にミドルシュートを決められてしまい逃げ切れ敗退してしまいました。運が本当に無かったといった試合内容でした。

三位決定戦は、準決勝で出場時間が短かった選手を前半に選抜し戦いましたが、点数がとれず、後半は準決勝でのメンバーに代わり怒涛の攻めをしたのですが、相手の守備に阻まれ得点できず、予想もしていなかったPK合戦になってしまいました。

T5クラスのリフティング上位者3名を主体に蹴る選手を決めましたが、残念ながら素晴らしいキックをしたのですが惜しくもゴール枠を捉えることができずまさかの敗退……。最終日は一勝もすることができず悔しい結果となった大会となりました。

【大会を通して】

○出場メンバーについて

試合をする時に決める出場メンバーですが、子どもたちの日々の練習態度や努力をみてそれぞれの子のポジションの「好き」、「嫌い」、現在の技術における適正を見極めながらポジションを決定しています。しかし、試合ではマネジメント（攻めや守りをコントロール）ができる選手が必要であり、このことができる選手は大会では長い出場時間になってしまうことをご了承いただきたく思います。

しかし、他チームは大会などではレギュラー、サブに分けられ、参加した選手がみんな試合に出られることはありません。アーレはチームの勝利の前に子どもたち個々の成長を考えているので、今回の大会に出場した選手たちはそれぞれに何が足りなくて、何が通用したのかを感じる機会となったと思います。

○選手に足りなかった技術について

今回のようなボールが転がっていかないぬかるみの多いグラウンドでは、大きく蹴ることができるキック力やキックのボールコントロールが必要でした。キック力は個々の筋力もあるため個人差があり、できる子とできない子で大きく差が出るプレーです。ボールクリアやミドルシュートなどがしっかりできるフィジカルの高い選手がいたチームは自分たちのペースで試合を運ぶことができました。アーレの選手たちは、キック力がある子は少なかったのでボールを大きく蹴ることやスムーズに動かすことに苦戦していました。しかし、年代を重ねることについてくる技術なので選手個々の早咲き、遅咲きの違いだけで心配することはありません。

しかし、一対一での攻防において、ボールをキープする技術や奪う技術は日々の練習から他チームの子たちより高い技術があったので練習の成果を感じました。

○大会中の子どもたちの様子について

「あきらめない」をテーマに掲げていたので、全ての試合で全ての選手たちが「あきらめない」プレーをしてくれました。

試合に出たい！出たい！と言ってくる子をみんな出場させてあげたかったのですが、どうしても4人はベンチでの観戦になってしまうため心苦しい思いでした。

大会終了後にテントの下にみんなが集まり、自ら反省会を行っていて一人ずつ反省を述べていた姿を見て感激しました。

小野FCの関係者の方々、株NACさま、参加されたチームの方々に感謝します。有難うございました。それぞれのチームの子どもたちが中学校、高校でサッカーを続け、また同じチームメイトになっていることもあります。この大会を通して将来に繋がる機会になったと思います。来年のアーレ出場枠もまた宜しくお願いいたします。

コーチ：設楽







